

# 常任委員会

12月定例会議において、4つの常任委員会が開かれ、本会議で付託された議案および請願の審査を行いました。各常任委員会に付託された議案の中から主な内容をお知らせします。

## 総務

### ◆ふるさと納税促進事業費

今年度は応援メニューのリニューアルやメディアなどへのPRを強化したことなどにより、昨年度の約2倍となる3億円の寄附が見込まれる。

そのため、返礼品代などに要する経費を追加する。



### ◆福島市部設置条例の一部改正

頻発する自然災害や新型コロナウイルス感染症対策などへの対応として、危機管理部門を市長直轄として位置づけ、危機事象への迅速かつ的確な対応を図る。

政策調整部の地域協働課は今後、市民との共創によるまちづくりを推進していくため「地域共創課」へ名称を変更する。

また、組織簡素化のため、市長室を廃止し、秘書課は総務部へ移管する。

## 文教福祉

### ◆保育士等奨学資金貸付事業費

将来、福島市内の認可保育施設や幼稚園において保育士、幼稚園教諭などとして勤務する意思のある方に対して奨学資金を貸し付ける保育士等奨学資金について、希望者の増加が見込まれることから追加し、さらなる保育士などの確保を図る。

### ◆オンライン家庭学習支援事業費

令和3年度新学期からスタートする、1人1台タブレット端末を活用した授業に備え、家庭内で使用できるインターネット契約を締結していない児童生徒の保護者に対し、インターネット接続契約をする際に生じる初期費用を支援する。

令和3年4月1日に、市立小・中学校、特別支援学校に在籍する予定の児童生徒の保護者で、家庭内で使用できるインターネットの契約をしていない方が対象となる。



## 経済民生

### ◆福島市写真美術館条例の一部改正

昨年度から2カ年の継続事業として復旧および耐震補強などの再整備工事を実施している写真美術館の再開館にあたり、文化芸術の交流拠点としての機能や写真文化の振興に重きを置いた施設であることを明確にするため、設置目的を改正する。



また、建物の老朽化によりさまざまな運営上の支障が生じている分館の市民ギャラリーを廃止し、その機能を本館に統合する。さらに使用する部屋に応じた利用料などを新たに定め、営利目的での利用を認めることとする。

### ◆鳥獣被害対策強化事業費

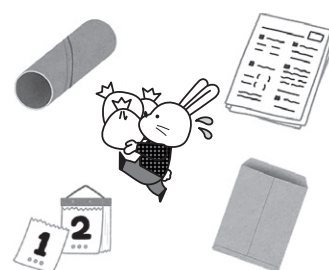
イノシシの捕獲頭数が予想を上回っていることから、狩猟捕獲に対する助成費を150頭分追加し、農作物への被害対策の強化を図る。

## 建設水道

### ◆ごみ減量化促進対策事業費

生活系可燃ごみの約20%を占める紙類の削減のため、現行の資源物のうち「その他の紙製容器包装」の収集対象を拡大し、「雑がみ」として分別収集を開始する。

令和3年4月からの収集開始に向け、チラシや看板などを作成し周知広報を行う。



### ◆河川災害防止緊急対策事業費

迅速かつ確実な内水排除作業を行うため、軽量緊急排水ポンプユニットを10台導入し、浸水被害のさらなる軽減を図る。従来のポンプと比較し軽量であり、運搬、設置が容易となるため、これまでに比べ運転開始までの準備時間の短縮と排水能力の向上が可能となる。